

2022年11月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連、観光関連が持ち直し、生産活動が一部で堅調である。一方、雇用情勢は横ばい、投資関連がやや弱含み、畜産関連が弱含んでいる。足元ではコロナ第8波やインフルエンザとの同時流行、物価高騰による消費の落ち込みなどが懸念されるが、急激な円安はやや一服しつつあり、社会経済活動の再開の動きも強まり、全体として回復傾向が続いている。

生産活動は、8月の鉱工業生産指数が2か月連続で前年を下回った。食料品、窯業・土石製品は前年を上回ったものの、電子部品・デバイスでは前年を下回った。

畜産関連では、10月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4は前年を上回り、去勢A3はほぼ前年並みだった。また、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、9月の家電大型専門店販売額は前年を下回ったものの、百貨店・スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア販売額や乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、10月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、11か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったが、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、9月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る1.36倍となった。

【生産活動】... 一部で堅調

電子部品関連は、半導体需要が高まり、スマホや5G関連は堅調だが、一部で在庫調整の動きがみられる。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

9月の焼酎生産は2か月連続で前年を上回り、出荷量は3か月ぶりに前年を上回った。

8月のかつお節生産は、2か月連続で前年を下回った。

10月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが9か月ぶりに前年を上回ったが、民間工事向けは2か月連続で前年を下回り、全体では4.7%減と2か月連続で前年を下回った。

10月の紙パルプ生産は、5か月連続で前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギ、ヒノキ共に前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

10月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。10月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4は3か月ぶりに前年を上回り、去勢A3はほぼ前年並みだった。9月の枝肉生産量は前年をやや上回った。

10月の豚肉相場は6か月連続で前年を上回った。9月の枝肉生産量は前年を下回った。

10月のブロイラー相場は、もも肉は4か月連続で前年を上回り、むね肉は33か月連続で前年を上回った。10月の処理羽数はほぼ前年並みとなった。

10月の鶏卵相場は前年を上回った。9月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 持ち直し

9月の百貨店・スーパー販売は衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では12か月連続で前年を上回った。

9月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

10月の乗用車新車登録台数は、2か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は32.3%増、小型車が20.0%増となった。

10月の軽自動車届出台数は2か月連続で前年を上回った。

半導体不足や部品供給減少などによる供給制約は緩和しつつある。

【観光関連】... 持ち直し

10月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、全国旅行支援効果などにより、関東、中部、関西などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、11か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区は、関東、関西、九州などからの入り込みや個人客、団体客が増加し、12か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東、東北、中部などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、12か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、中部、九州などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、10か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は、10か月連続で前年を上回り、奄美地区^注は8か月連続で前年を上回った。

10月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... やや弱含み

10月の公共工事は、件数は前年を下回ったが、請負金額は前年を上回った。

9月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額共に前年を下回った。

9月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったものの、持家、分譲が前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、2.9%減となった。

9月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、5か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

9月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回ったものの、再輸出品、食料品及び動物が前年を大幅に下回り、全体では33.4%減と2か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で75.5%増と18か月連続で前年を上回った。

^注 奄美地区は新型コロナ療養施設を除く

【雇用情勢】... 横ばい

9月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る1.36倍となった。県内求人数を業種別にみると、建設業、卸売業・小売業や更新時期のずれ等で製造業が前年を下回ったものの、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

9月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.6%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

10月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が3件で前年同月（6件）を下回った。また負債総額は91百万円で前年同月（6億99百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)